



衣川 正介

『恐竜の絶滅』

2月15日、ロシア連邦のチュリヤビンスク州に隕石が落下したことで、『鉄のふしぎ博物館』に来館される方々の話題が隕石や隕鉄に集中しました。そこで、展示物も一部入れ替えて、隕鉄2種類4ヶ、隕石1ヶ、パラサイト2ヶと宇宙の関係物を増加させました。『ロシアに落ちた隕石はどれくらいの大きさだったのでしょうか?』、『この隕鉄の模様、きれいですね。』『隕石は磁石につくのですか?』などなど色々な感想や意見が出ます。5月に『鉄のふしぎ博物館』へ来館された家族連れ、帰り際に小学5年生の男の子『恐竜が絶滅したのは、6500万年前に地球に落ちて来た大きな隕石の影響です。そのため衝突の時に発生した、チリと火事の煙で太陽が隠れてしまって地球が凍りついてしまいました。そして、すべての植物が枯れて草食恐竜の食料が無くなり死滅しました。肉食恐竜は草食恐竜が死んでしまったため、食料が無くなってしまいました。この隕石はユカタン半島に落ちたのです。』『よく知っているね。ぼく』私、『この子は恐竜や宇宙のことが大好きなの。』母親。『もっと色々勉強して、おっちゃんに教えてね。』そう言って別れました。

こんなによく知っている子どもが見学に来るのならと、本棚から関連の本を探し再度読み直しました。一つは『NHK まんが地球大紀行』もう一冊は『巨大隕石衝突』です。子どもの話に出てきた、チチュルブ・クレーターは、メキシコのユカタン半島にあります。直径 160 km で、世界で三番目に大きな隕石衝突跡です。大きな衝突のエネルギーは、大地の土砂を吹き飛ばし、それらの細かい土砂やチリは、爆発的なスピードではるか上空にまで達し、風に乗って地球を覆ってしまいました。隕石の衝突で発生した大火は、推定1千億から5千億トンの硫酸塩やススを大気中に放出させ、これらは酸性雨を降らせて森林や植物を枯らせ、生物にとって、最も大事な水の環境までも破壊しました。そして、草食動物たちが死に絶えると、それらを食料としていた肉食動物たちも食べるものがなくなる。共食いをしていた恐竜たちもいたが、それらにも限りがある。肉食動物もエサがなくなり、やがては死滅していきました。

2010年にサイエンス誌に掲載された説では、小惑星の大きさは直径10~15km、衝突速度は約20km/s、衝突時のエネルギーは広島型原子爆弾の約10億倍、衝突地点付近で発生した地震の規模はマグニチュード11以上、生じた津波は高さ約300メートルと推定されています。



展示中の隕石

ロシアに落ちた隕石 インターネットより借用



参考図書

新版 再現! 巨大隕石衝突 (6500万年前の謎を解く) 松井孝典 岩波書店 2009年
恐竜の絶滅~気候変化のなぞ (NHKまんが地球大紀行) ひきの真二、松井孝典 2012年

『鉄のふしぎ博物館』

鉄を見る目がかかりますよ。
ぜひお越しください。

来て! 見て! ふれて! ふしぎ体感



むらの鍛冶屋

ホームページと電子メールをご利用ください。

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>
<http://www.kanamono.co.jp/catena/ryou@memenet.or.jp>

